

13.5.17 毎日

■子宮頸がんワクチン接種は継続 *ham*

厚生労働省は16日、4月から定期接種を始めた子宮頸(けい)がんワクチンの安全性を評価する専門家検討会を開いた。現場の医師が副反応(副作用)と認めず国に未報告になっている症例も被害者団体を通じて提示されたが、委員らは「接種中止を判断するには医学的論拠がない」と判断。接種を継続しながら被害状況把握のための調査を行うことを決めた。

検討会では、厚労省が重い障害が残るような副反応が2009年12月の販売開始から今年3月末までに878人に上ると報告。重篤な例とされた運動障害を伴う「複合性局所疼痛(とうつう)症候群」について議論し、実態調査することを決めた。